

楽しく安全に八郎岳に登ろう



育成協の皆さんをはじめ約20人で看板を設置しました

市内最高峰の山である八郎岳(標高589m)には、市内外から多くの登山者が訪れています。1月27日、登山者に八郎岳について知ってもらい、安全に登山してもらうことを目的として土井首中学校区青少年育成協議会と市の職員が登山道に看板を立てました。看板は、南陽小学校6年生が卒業記念で作成し、長崎にちなんだイラストや「ごみば捨てんごとね!」「頂上目指して頑張ろう!」という登山者へのメッセージが書かれています。登山の際はチェックしてみてください。

■問い合わせ 土井首地域センター(☎878-4534)

誰もが使いやすくやさしい路面電車を目指して



各市の首長がオンラインでLRT化などの取り組みを紹介

1月28日、人と環境に配慮した路面電車の在り方などについて話し合う「LRT都市サミット長崎2022」をオンラインで開催しました。サミットでは各都市の首長が低床式車両の導入など、路面電車に関するさまざまな取り組みの紹介や意見交換などを行い、参加した10都市で、まちの未来を路面電車とともに描いていくための「サミット宣言」を行いました。

サミットの様子は市公式YouTubeチャンネルに掲載していますので、ぜひご覧ください。

■問い合わせ 公共交通対策室(☎829-1271)

長崎市地球温暖化対策実行計画協議会を開催



令和4年度から令和7年度で取り組む重点アクションプログラムも策定

市では、地球温暖化の原因と考えられる温室効果ガス排出量を削減するため、平成21年度から令和12年度を計画期間とする「長崎市地球温暖化対策実行計画」を策定しています。1月25日、改訂に向けた協議を行い、「ゼロカーボンシティ長崎」を実現するため、戦略をリードする野心的目標や二酸化炭素の吸収・利活用の目標などを新たに設定しました。市では引き続き、市民や事業者の皆さんと連携して地球温暖化防止の取り組みを加速していきます。

■問い合わせ 環境政策課(☎829-1156)

V・ファーレン長崎から「夢」の大切さを教わりました



講話の場では、夢を発表し合う子どもたちの姿もありました

市では、V・ファーレン長崎や長崎ヴェルカを応援することを通じて、地域の一体感を高めるため、交流事業を行っています。1月21日、V・ファーレン長崎のスタッフやマスコットキャラクターのヴィヴィくんが坂本小学校を訪問し、レクリエーションや、講話などを行いました。講話では、元選手で普及インストラクターの前田悠佑さんが、夢や目標を見つけることの大切さを熱弁。子どもたちは普段聞けない話に耳を傾け、自分の夢を想像しながら目を輝かせていました。

■問い合わせ 中央総合事務所総務課(☎829-1428)